

牛舎などの暑熱対策は出来ていますか？

暑い夏がやってきました。牛はルーメン(第一胃)という発酵タンクを持っているため、餌を食べることにより熱が発生します。しかし高温・多湿の環境では体から十分に熱を逃すことが出来ないため、暑熱ストレスにより全身の機能が減退してしまいます。暑熱ストレスは受胎率低下、増体の低下、乳量・乳質の低下など生産性に悪影響を及ぼします。暑熱対策をしっかりと行ない、快適な環境を作ってあげましょう。

牛舎管理

- ①換気・・・・・・・・風通しを良くし、牛舎にこもっている熱気を逃がしましょう。
- ②屋根への散水・・・・・・・・屋根は直射日光を受けるため熱がたまりやすく、牛舎内への放射熱の大きな要因となっています。屋根に散水・放水を行ない、熱放射を防ぎましょう。
- ③直射日光を遮る・・・・・・・・直射日光が入る場合は、すだれやグリーンカーテンなどで日光を遮断しましょう。ただし、風の流れを妨げないように注意が必要です。
- ④密飼いを防止・・・・・・・・暑さ対策だけでなく、密飼いによるストレスも防げます。

飼料給与

- ①十分な飲水・・・・・・・・新鮮な水を常に十分飲めるようにしましょう。水槽やウォーターカップの汚れは清掃し、故障が無いか確認しましょう。
- ②良質な飼料・・・・・・・・暑さが厳しくなると粗飼料の食いも落ちてしまいます。良質で牛が最も好む粗飼料を与えましょう。また、給与回数を増やし少量ずつ与えると、体温の上昇を小さくし食い切りも良くなります。できるだけ涼しい時間帯に給与すること、飼槽の清掃をこまめに行なうことも大切です。
- ③栄養補給・・・・・・・・ビタミン、鈣塩を与えましょう。

牛体の対策

- ①牛への送風・・・・・・・・送風機を使用し、牛の体を直接冷やしてあげましょう。最も発熱量の多い首から肩付近に風が当たるように配置しましょう。
- ②散水・・・・・・・・夕方に牛の頭部から背中にかけて水をかけてあげましょう。
- ③毛刈り・・・・・・・・毛刈りを行なうと、体温が約0.5℃下がります。